

石川千代松 ちよかほ 動物學者、理學博士。安政七年一月八日江戸本所
龜澤町生れ、昭和十年一月十七日歿（二六〇—一九三五）。東京大學生物學
科卒。アメリカ人教師ヒームに學ぶ。ドイツに留學しワイズマン進
化説を會得、歸朝後帝國大學農科大學動物學主任教授とほる。また進
化論や一般生物學の啓蒙に努め、我が國動物學の基礎確立に貢献。日
本動物學會會頭の數度就任。帝國學士院會員。臺灣に客死。翻譯家石
川放一の父。

著書に『進化新論』（明治二十四年一月十二日敬業社）、『中等動物
學』（明治二十二年七月二十一日富山房）、『近代論的動物學綱要』（明
治四十二年七月四日弘道館）、『人間の進化』（大正六年十一月八日
大日本學術協會）、『動物園』（昭和二年六月五日アルス「日本兒童
文庫」）、『進化論』（昭和五年九月十五日春秋社「春秋文庫」）、
『性と生命』（昭和五年十一月十日武藏社「性科學全集」）、『親子
夫婦・兄弟』（昭和六年六月二十日一元社）、『石川千代松全集』
全十卷（昭和十年刊）等。

